

出水商業高等学校 「いじめを考える週間」の取り組み

本校では、令和2年度、1学期の「いじめを考える週間」において、生徒全員が過ごしやすい学校環境を作るために以下のような内容で取り組みました。

1 校内放送によるいじめをなくそう宣言

毎年生徒総会で、いじめをなくそう宣言の宣誓を行っています。今年は新型コロナウイルス感染予防対策で生徒総会は中止となりましたが、校内放送において、生徒会の代表が「いじめをなくそう宣言」を読み上げ、各教室で生徒全員による復唱を行いました。



いじめをなくそう宣言

全ての生徒は、「楽しい学校生活を送る」権利を誇っています。
「いじめ」は、この権利を奪うものです。
いじめを言に命を絶つ生徒を伝える悲しいニュースは、残念なことに新聞やテレビでよく扱われ、私たちに身近な事件と言えるでしょう。また、東日本大震災で被災して窮乏生活を送る生徒や、福島原発事故の影響から逃れるために避難生活を送る生徒へのいじめ行為があったというショッキングなニュースもありました。被災して苦しい思いをしている人をいじめることでさらに傷つけるという行為は、あってはならないことです。
私たちの日常生活の中でも、いじめが起こり得ることで認識すべきだと思います。その上で、見て見ぬふりをすることなく、声をかける勇気が必要です。

いじめは、受けた人のみならず、いじめを行った人や、周囲で見ていた人にも、一生癒えない深い傷を残すものです。
いじめは、絶対に犯してはならない大きな過ちです。

人間は本来、優しい心を持っています。
人を思いやり、差し、大切にすることを覚えています。
その優しい心を表す勇気こそ、私達は持つべきなのです。

出水市の全ての学校から、全ての生徒の責任として、あらゆるいじめをなくし、互いに支え合い、誰もが楽しいと思える学校を創るために、私達はここに次のことを宣言します。

- 一、どんな理由があっても「いじめ」は絶対にしません。
- 一、嫌なことがあったら、すぐに誰かに相談します。
- 一、いじめられている人がいたら、支え、助け、決して見て見ぬふりせず行動します。
- 一、一人ひとりがお互いの個性を認め合い、思いやりの心を持って、仲間はずれのない楽しい学校生活を送ります。

この宣言を胸に抱き、私達出水商業生は一つの家族として、固まらぬ支え合い、「絆」を大切にすることで豊かな人間関係を築き、苦しい命をなくしたりすることのないように、心一つにして取り組みます。

2 一斉放送による詩の朗読・ラジオドラマ

毎朝の読書の時間を活用し、いじめ問題を考える週間に合わせて、「詩の朗読およびラジオドラマ」を校内放送で実施しました。いじめに関するオリジナルのラジオドラマの作成など図書委員が準備しました。会話形式のドラマで聞き手に感情の伝わりやすい内容となっていました。



3 新聞記事の活用

朝読書の読み物としていじめ問題に関する新聞記事を準備し、それを読む機会を設けました。新聞記事に触れることで、いじめを社会で起きている身近な問題として捉え、いじめは絶対に許されないということを再認識する機会となりました。